



# エクアドル通信



No.1 2019年3月29日

青年海外協力隊 江口友晴

はじめまして。2018年7月から、南米のエクアドルという小さな国のアマゾン地帯で、青年海外協力隊として 観光促進活動 をしている江口友晴です。

みなさんは、エクアドルという国をご存知ですか？エクアドルは、世界遺産登録第一号のガラパゴス諸島がある国です。「エクアドル」はスペイン語で「赤道」という意味で、文字通り赤道上に位置しています。バナナ、カカオ、コーヒーなど農業が盛んで日本国内でもエクアドルの物を目にする機会が多くあるかと思います。



はじめに、エクアドルの首都を紹介します。エクアドルの首都「キト」は、標高が約 2,800m と高い場所にあります。キトは、新市街と旧市街に分かれていて、新市街は高層ビルやショッピングモールが立ち並び、旧市街は世界遺産に登録されています。



## Mitad Del Mundo

首都のキトから車で約 1 時間の場所に、Mitad Del Mundo（意味:地球の真ん中）という赤道記念碑があり、黄色い線が赤道上に引かれて、北と南に分けられています。しかし、技術が進歩したことでこの赤道記念碑の赤道と本当の赤道にズレがあることが発覚しました。そのため、「本物の赤道」はここから少し離れた場所にあります。



## 赤道博物館

本物の赤道上に線が引かれている赤道博物館では、赤道上ならではの面白い現象を体験することができます。赤道上では、釘の上に卵が立ったり、水が排水口から流れ落ちる際に渦を巻かなかったり、重力の関係で真っ直ぐに歩くことができなかつたり、力が入りづらかつたりするのです。

また、この赤道博物館では昔の家や生活用品が再現されており、エクアドルの先住民の暮らしや歴史も絵や無料ガイドの説明を通して学ぶことができます。



次回は、エクアドル全体についてご紹介したいと思います。(^-^)